

科 目		必・選	担 当 教 員		学年・学科		単位数	授 業 形 態					
資源循環システム学 (Resource recycle System)		選	靄巻 峰夫		5学年 環境都市工学科		1	半期 週2時間					
授業概要		廃棄物処理・資源循環についての我が国における法令等の体系的な取り組み及び主要技術について学ぶ。											
到達目標		①資源循環・廃棄物処理に関する法律体系を理解する。(C-1) ②資源循環・廃棄物処理に関する現状及び課題を理解する。(C-1) ③資源循環・廃棄物処理に関する主要な技術を他の技術体系と関連で理解する。(C-1)											
評価方法		定期試験で評価する。											
教科書等		[教科書]羽田・江成著「環境工学」森北出版											
内 容									学習・教育目標				
第 1 週	資源循環システム学で学ぶこと (オリエンテーション)							C-1 (d1)					
第 2 週	循環型社会形成の背景と理念							C-1 (d1)					
第 3 週	資源循環と廃棄物適正処理のための法体系							C-1 (d1)					
第 4 週	資源循環と廃棄物処理の現状と課題							C-1 (d1)					
第 5 週	演習 資源循環と廃棄物適正処理の課題と方向性 (レポート作成)							C-1 (d1)					
第 6 週	焼却による資源化と処理 (1) 焼却理論と公害防止技術							C-1 (d1)					
第 7 週	焼却による資源化と処理 (2) 焼却施設と資源化技術							C-1 (d1)					
第 8 週	演習 焼却炉の計画							C-1 (d1)					
第 9 週	個別資源の資源化と処理 (1) 有機性廃棄物							C-1 (d1)					
第 1 0 週	個別資源の資源化と処理 (2) プラスチック・包装容器類							C-1 (d1)					
第 1 1 週	演習 資源化設備の計画							C-1 (d1)					
第 1 2 週	埋立てによる適正処分技術							C-1 (d1)					
第 1 3 週	廃棄物処理・資源化に関する計画 (1) 廃棄物の発生量と分別収集							C-1 (d1)					
第 1 4 週	廃棄物処理・資源化に関する計画 (2) 資源化施設、処理施設の計画							C-1 (d1)					
第 1 5 週	演習 廃棄物発生予測と資源化施設の計画							C-1 (d1)					
第 1 6 週													
第 1 7 週													
第 1 8 週													
第 1 9 週													
第 2 0 週													
第 2 1 週													
第 2 2 週													
第 2 3 週													
第 2 4 週													
第 2 5 週													
第 2 6 週													
第 2 7 週													
第 2 8 週													
第 2 9 週													
第 3 0 週													
(特記事項)			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
							◎						

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

資源循環システム学 5年

第1週

廃棄物の問題、資源リサイクルの重要性について説明するとともに資源循環システム学で学ぶことを紹介する。

第2週～第5週

廃棄物処理・循環型社会形成に向けた社会的背景や法体系及び現状と問題点について学ぶ。

第6週～第8週

個別処理技術として焼却による処理及びエネルギー等のリサイクルの技術について学ぶ。

第9週～第11週

有機廃棄物、プラスチック類等個別の廃棄物に関する処理・リサイクル技術について学ぶ。

第12週

再生処理できない残渣等の最終処分としての埋め立て処分技術について学ぶ。

第13週～第15週

地域の廃棄物処理・リサイクル計画の初歩的な計画手法を演習を中心に学ぶ。